

本 会 記 事

1. 昭和56年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の昭和56年度総会ならびに研究発表会は、約160名が参加し、11月17日に高松市の京王プラザホテルで開催された。

(1) 総 会

10時から開会され、昭和55年度会務報告が承認されたのち、昭和56年度事業計画ならびに予算案が上程され、承認された。議長は香川農試府中分場長 尾崎幸三郎氏。

(2) 研究発表

11時から14時15分まで、つぎの課題について研究発表が行なわれた。座長として武智文彦、金磯泰雄、谷本温暉、古谷真二の諸氏が当られた。

葛西辰雄(香川農試):トビイロウンカの薬剤感受性

藤本健二・草川顕一・森田武夫・松崎征美* (高知県須崎防除所・*高知農林技研):ミナミキイロアザミウマの薬剤感受性と薬剤防除について

大和浩国(徳島果試):ナン枝枯病の防除試験

小倉寛典・吉本 均(高知大):ミョウガ根茎腐敗病の発生とその対策

安永忠道・松本英紀・重松喜昭(愛媛農試):S-0208剤によるイネ籾枯細菌病の防除

土居隆洋*・山崎康男**・小山光男*** (*愛媛県東予防除所・**愛媛農試・***四国農試):ハスモンヨトウにおける性フェロモン(SL-D)交信攪乱効果について

山崎康男・吉岡幸治郎・武智文彦(愛媛農試):サトイモの生育収量に及ぼすハダニの影響

十河和博・都崎芳久(香川農試):香川県で新発生したシュンギクベと病

金磯泰雄・山本 勉(徳島農試):稲わら施用がハウス環境ならびに病害の発生に及ぼす影響

山下 泉・堀内崇裕・井上 孝(高知県南国防除所):南国地区における露地オクラの病害虫について

(3) 協 議

14時30分から17時まで、本年度の病害虫発生の特長とその対策ならびに防除上の問題点について、大塚啓二、野田弘之、上森 実、上村隆之の諸氏が報告(要旨71~76頁)された。また、果樹を加害するカメムシ類について、大広 悟氏、水田転換作物の病害虫防除上の問題点について、寺岡義一氏に話題提供していただき、活発な討議が行なわれた。なお、座長は山本 磐、吉岡幸治郎、野口義弘、森 介計の諸氏が当られた。

2. 次年度総会

昭和57年度総会は、四国農試が担当し、昭和57年秋開催の予定である。

会 員 消 息

1. 新入会員

氏 名	勤 務 先	住 所
松 本 征	愛媛県中予病害虫防除所	〒790 松山市道後一万1-2
村 上 要 三	〃 南予病害虫防除所	〒789 宇和島市天神町7-1 宇和島県庁舎内
奈 良 稔 邦	香川県農林部農業改良課	〒760 高松市番町4丁目1-10